



惑星儀をつくらう！



平成27年度最後のコスミックスクールは、「惑星儀をつくらう！」でした。参加者は親子で約50組。火星、金星、木星、土星の中から好きな惑星を選んで製作してもらいましたが、一番人気はやはり土星、次に木星でした。土星の環はとてもきれいですので、みなさんも興味を引かれたようです。

最初の工程は、型紙を切るところから始めます。きれいに切ると仕上がりがよくなりますので、みなさん真剣な眼差しで取り組んでいます。



した。次に、惑星の南極と北極に型紙の先端を合わせるようにして、できるだけ隙間ができないように発泡スチロール球に貼っていきます。完成すると、「がんばってできた！」「うまくできてよかった！」「部屋に飾っておきたい。」とみなさん満足されていました。

今回使用した惑星の型紙は、姫路市にあります「星の子館」にご協力いただいたものですので、そちらのホームページからダウンロードすることができます。また、直径10cmの発泡スチロール球は、比較的手に入りやすいですから、自分で作ってみたい方は、チャレンジしてみてください。

今回は、4月から始まる幼児向けの特別番組「星うさぎと月のふね」に合わせて、おりがみで星などをつくる「おりがみ教室」を行いますので、ぜひご家族でご参加ください。

3月、4月の天文現象

火星と土星 3月28日から3月30日

明け方の南の空には、火星と土星が仲良く並んで輝いています。すぐそばにはさそり座の赤いアンタレスも目にとまるでしょう。



3月29日には火星、3月30日には土星の近くに月が並びます。早起きをして、アンタレスのそばに並んだふたつの惑星の様子と、近くを移動しながら日ごとに欠けていく月の形の変化を観察してみましょう。

夕方に見られる水星 4月18日

太陽の近くをまわる水星は、いつも目まぐるしく位置が変わって見えます。4月18日の前後数日間、日没後の西の空の低い位置ではあるものの2016年で最も高い位置にきています。双眼鏡でもよく見えますが、望遠鏡で覗いてみると、上弦の月と似たような半分欠けた姿を見ることができます。



遠いときには小さく見えます。また、月の軌道は太陽や地球などの重力を受けてわずかに変化するため、月が地球に最も近づく位置や最も遠ざかる位置での距離は毎回異なります。

4月22日の満月は、今年の満月の中で最も小さく見えます。下のイメージ図で比べてみると大きさのちがいがよく分かりますね。

今年最小の満月 4月22日

月は地球の周りをまわっていますが、その軌道が楕円のため地球と月の距離は変化しています。そのために月の見かけの大きさは地球との距離が近いときには大きく、



★★観望会★★

《 博物館主催きらら号観望会 》 《 天文ボランティア主催観望会 》

日時：3月9日(水)
時間：9時30分から12時
場所：市民公園
内容：部分日食を見よう！

日時：3月27日(日)
時間：19時から20時30分
場所：伊坂ダムサイクルパーク
管理事務所付近
内容：木星を見よう！

日時：3月26日(土)
時間：19時から20時30分
場所：市民公園
内容：木星を見よう！

*きらら号は出動しません。
*当日の自由参加です。
*天候不順の場合は中止します。

*当日の自由参加です。
*天候不順の場合は中止します。



ガリレオ教室

<火星のひみつ>



今話題の火星について、天文ボランティアが分かりやすく解説します！

日時：3月13日(日)
①11時から11時20分
②11時30分から11時50分
③14時から14時20分
④14時30分から14時50分
場所：5階コスミックラウンジ
※ 当日受付
※ 参加無料

編集後記

2か月前に比べると、日の入り時刻が1時間ほど遅くなっています。日差しにもなんとなくあたたかさを感じるようになり、3月20日には春分を迎えます。

夜は、まだまだ寒さを感じる日も多いですが、冬の時期よりも少し長めに夜空を眺め、春の星たちを探してみたいはいかがでしょうか。



